

タバコを正規な場所に捨てましょう！！

21411229 夏目俊成

21611210 周夢瑩

2161111164 小島龍郎

1 目的：

ポスター1枚でポイ捨てがなくなるのか、心理学的な側面から考える。すなわち、単に禁止事項を訴えるのではなく、心理効果を利用して訴える。

2 内容：

ポスターを喫煙所の壁などに貼り、ポイ捨ての危険性を再認識してもらうことにより、ポイ捨てが減るかどうかを検証する。

3 方法：学校の喫煙所を実験場所に設定し、事前（2018年12月14日、12月17日、12月21日）に調査を行って、どういう現状かを確認する。その後インパクトがあるポスターをはり、ポイ捨てが減るかどうかを観察する

場所 喫煙所の壁やコンテナ

ポスターの掲示期間 3日間（2019年1月16日、1月17日、1月22日）

4 事前調査：

時間 昼休み（12：45～12：50）

1日目（12月14日（金））煙草 7本 ゴミ 2個喫煙所には捨てているが、火が完全に消えていなかった

2日目（12月17日（月））煙草 4本 ゴミ 1個同じく、火が完全に消えていなかった

3日目（12月21日（金））煙草 2本 ゴミ 2個主な煙草のゴミ・・・ガムの紙、煙草の

5 結果

時間 昼休み（12：45～12：50）

1日目（1月16日（水））煙草3本 ゴミ2個

2日目（1月17日（木））煙草2本 ゴミ2個

3日目（1月22日（火））煙草10本 ゴミ4個

5 考察：分析

ポスター1枚では、見慣れてしまっていて、予防にはならなかった。